

# テトラ インターナル ワンタッチフィルター

## 取扱説明書 IN-30用

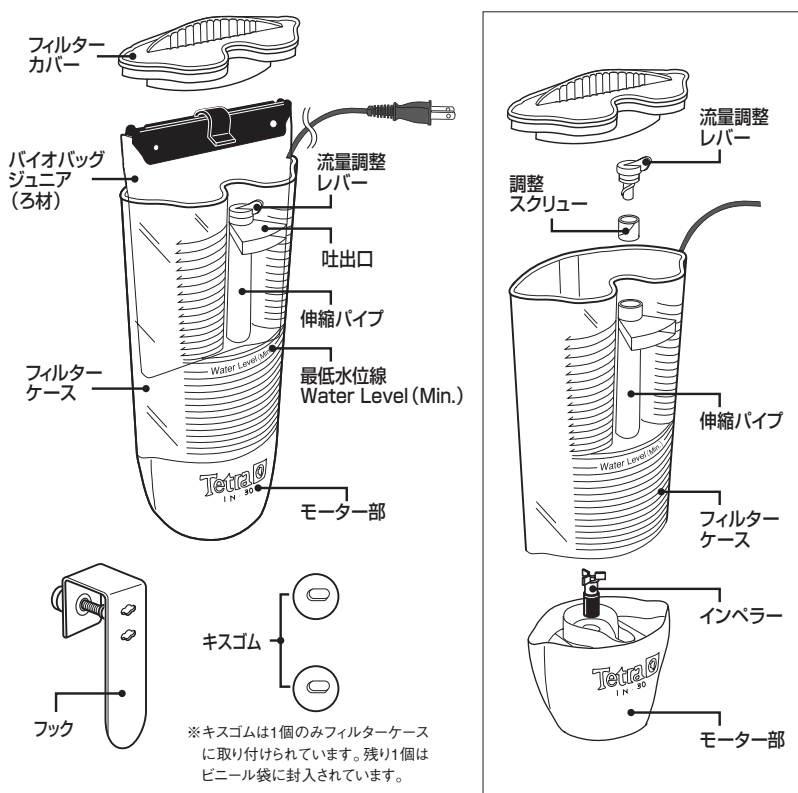


●このたびは、テトラ インターナル ワンタッチフィルターをお買い上げいただき、誠に有難うございます。  
●正しく安全にお使いいただくために、使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、十分に理解してからご使用ください。お読みになった後は、大切に保管していただき、必要な時お読みください。

1

Japanese Version 100V 50/60Hz

## 各部の名称



4

## 安全にお使いいただくために

お使いいただく前に、取扱説明書をよくお読みご理解いただいた後からお使いください。誤った使い方は、人、動物、財物の重大な事故につながる危険があります。お読みになった後は大切に保管し、必要な時は再読してください。

### 警告

感電事故を避けるためにお守りください。



- 水の中に手を入れる時は、必ずプラグを抜いてください。
- 水漏れや事故の際は、直ちにコンセントからプラグを抜いてください。
- セット、点検、掃除、移動の際はプラグを抜いてください。
- 濡れた手で、プラグの抜き差しをしないでください。
- 強い衝撃を加えたり、落としたりしてはいけません。
- 幼児、子供のいたずらや、接触転倒などに十分ご注意ください。
- 子供が使う時は、大人が立ち会うようにしてください。
- 改造してから使わないでください。

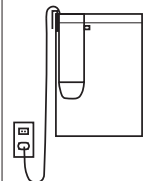


- 万一何らかの理由で、フィルターに水が入っていない状態で一定時間以上動作させた場合には、必ずモーターを取り外し、明るい光の下でプラスチックの表面がゆがんだり、溶けたりしていないか調べてください。もしゆがんだり溶けたり、あるいは作動具合が良くなかった場合には、使用しないでください。

### 注意

火災・漏電事故を避けるためにお守りください。

- 電源はAC100ボルトの専用コンセントをお使いください。テーブルタップ(延長コード)の使用は避けてください。
- コンセントのプラグやコードに埃(ほこり)が被らないようにしてください。
- プラグを差し込む時は、隙間が出来ないように、しっかりと押し込んでください。
- 水滴や飛沫がプラグやコンセントを濡らさないようご注意ください。
- 濡んだコードは、湿気や水滴により火災をおこす恐れがありますので使用しないでください。
- プラグの刃の部分、刃と刃の間の汚れは定期的に取り除いてください。
- 電源コードを加工したり、ご使用の際にたばねたり、柱に打ちつけたりしないでください。
- 水がコードを伝わってコンセントを濡らすと火災、感電の原因となります。水が侵入しないように、コンセントより低い位置にコードのたわみをつけるようにしてください。(左図イラスト参照)



たわみをつけることでコンセントへの水の侵入を防げます。

2

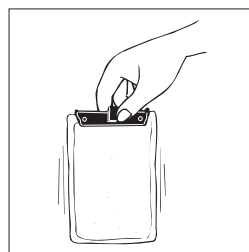
## 設置方法

4ページの「各部の名称」を参考に組み立てます。  
フィルターカバーを開けバイオバッグジュニアを取り出します。

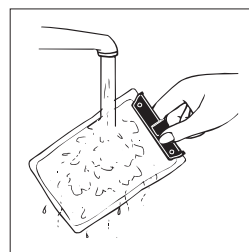
1 輸送等により破損していることがありますので、各部を外見から必ず確認します。破損していた場合、販売店にお知らせください。

### 注意

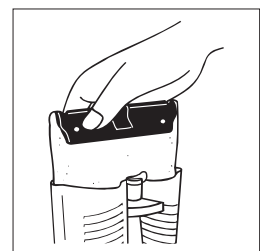
輸送等によりモーター部とフィルターケース部の接続が緩んだり、破損していることなどがありますので、必ず確認のうえご使用ください。



2 バイオバッグジュニアをビニール袋より取り出し、図のように軽くふり、下部に吸着ろ材を集めます。

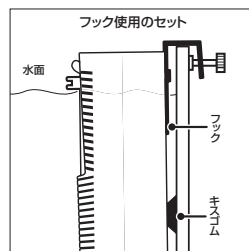


3 水道水でバイオバッグジュニアを軽くすすぎます。



4 図のようにバイオバッグジュニアのフレーム部を持って、バイオバッグジュニアの両端をフィルターケースに合わせて入れ、底部に届くまでしっかりとセットします。

5



5 水槽内の上部フックを引っかけて、固定ネジで水槽にしっかりとセットします。また下部にはキスゴムをセットし、ご使用ください。

## 安全にお使いいただくために

### 注意

本体による事故や故障を避けるためにお守りください。

- 縦置きで使用される場合、最低水位線【Water Level (Min)】より水槽水面を上にして電源を入れてください。
- 横置きで使用される場合、フィルター本体を必ず水中に沈めてから電源を入れてください。
- 本体を洗浄する時、せっけん、洗剤を使用しないでください。
- 本体吸水部の網目より小さな魚は、フィルターに吸い込まれることがありますのでご注意ください。
- 観賞魚水槽用フィルターです。それ以外の目的で使わないでください。
- 屋内専用です。屋外では使用しないでください。
- 正しい電源電圧周波数で使用してください。
- 目づまりや汚れによる流量低下は故障の原因となりますので、モーター部やインペラー部、は定期的(2カ月に1度位)に掃除してください。
- 水槽の水位に注意してください。モーターを空運転させますと、故障の原因となります。
- 適合水槽は魚種、魚の数、環境によって違ってきますのでご注意ください。海水魚、大型魚など、特にパワーを必要とする場合は大きめのフィルターを使用してください。
- 器具を本来の目的以外に使用しないでください。推奨されている製品もしくは当社製の付属品以外のものを接続すると、危険な状態になる場合があります。
- 0度以下の条件にさらされる可能性のある場所に器具を設置したり、保管したりしないでください。
- 作動前に、水槽にセット器具がきちんと設置されているか、水漏れがないか確認してください。
- コードは、つまづいたり、引っ張られたりすることがないように取り付けセットに注意してください。

テトラ製品のお取扱い方法・お手入れ方法・修理その他ご不明な点は、機種名をご確認の上、お買い上げの販売店又は弊社にご相談ください。

### (弊社商品相談窓口) テトラ インフォメーションセンター

- 電話受付時間:月～金曜日 午前10:00～12:00 午後2:00～5:00 (祭日は休業いたします)
- 電話番号:03-3794-9977
- お手紙の受付:(随時)宛先:〒153-0062 東京都目黒区三田1-6-21 アルト伊藤ビル  
テトラ ジャパン株式会社 テトラ インフォメーションセンター行

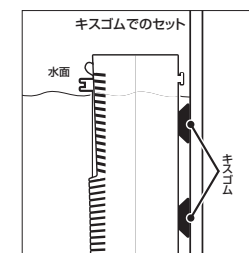
情報がいっぱいテトラ ホームページをご利用ください。 [www.tetra-jp.com](http://www.tetra-jp.com)

### 注意

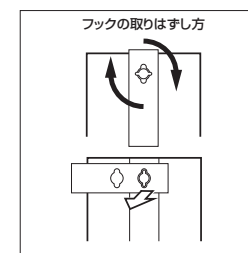
●誤った使用方法、管理不十分による損害、魚、水草などの生体の病気、死亡、枯死については、弊社では責任を負いかねますので、予めご了承ください。

3

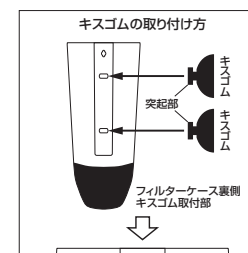
## 設置方法



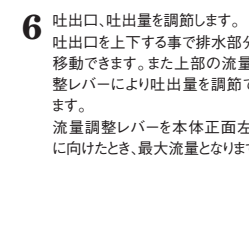
水槽のフチが設置位置より高い場合は、フックをキスゴムに付け替えてキスゴムを上下に2つ使用してご利用ください。



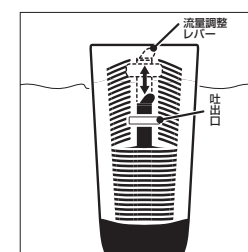
※フック取りはずし時、フィルターケース側の固定突起部の破損にご注意ください。



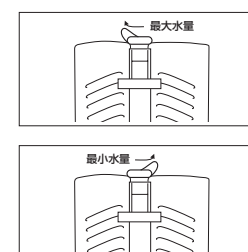
キスゴムの突起部を押し込んだ後、90°回転させてください。



6 吐出口、吐出量を調節します。吐出口を上下する事で排水部分を移動できます。また上部の流量調整レバーにより吐出量を調節できます。流量調整レバーを本体正面左側に向けたとき、最大流量となります。



流量調整レバーで調節しても流量が多い場合は、吐出口を水中に沈め、弱めることもできます。



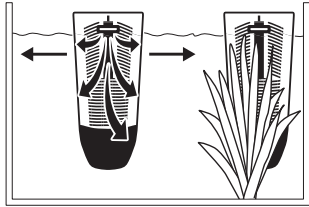
6

## 設置方法

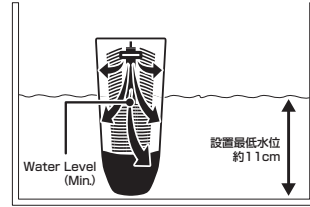
7 水槽内設置は縦置き、横置きと、お好みに合わせてご使用できます。

●縦置きで使用される場合（標準的設置方法）

フィルターケース上部を水中に沈めて設置する場合、バイオバグジュニアのろ過効果を最大限に発揮させるためフィルターカバーを取り付けてご使用ください。



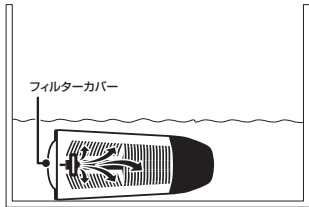
水槽内で自由な場所に設置可能です。水草や流木の影に設置して隠すこともできます。



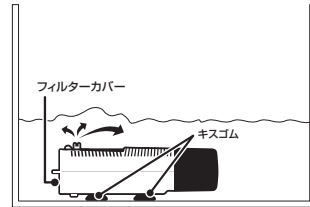
縦置きの場合、本体中央にある「Water level (Min.)」以上の水位でご使用ください。

●横置きで使用される場合（必ず、フィルター本体を水中に沈めてセットしてください。）

水位が高い場合でも低い場合でも、水槽内に沈めて設置することもできます。この場合本体にはフィルターカバーを必ず取り付けて、フックを取りはずしキスゴム2個を使用し完全に水の中に沈めてご使用ください。



水槽内で横にして設置することで、水位の低いカメラのような場合も強力的に過します。（必ず、キスゴム2個をガラス面に取り付けてご使用ください。）



底砂を敷いていない場合は、上向きに噴水のように設置することも可能です。

注）インターナル ワンタッチフィルター IN-30を沈めて魚を飼育する場合、エアポンプを使ってエアレーションを実施してください。（酸素欠乏を防止するため）

8 電源プラグをコンセントに差し込みます。

水槽内の設置位置が決まりましたら、水槽水位を本体位置を確認して電源プラグをコンセントに差し込みます。

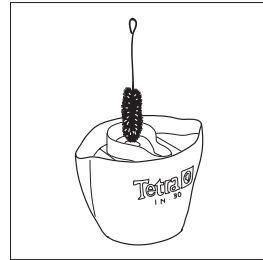
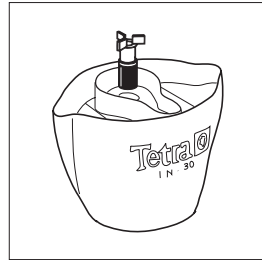
7

## フィルターケース・インペラー部のそうじ

5 モーター内部よりインペラーを取りはずし、テトラ ワンタッチフィルターブラシや綿棒などを利用して内側をそうじします。

（※異物は完全に除去します）

※金属ブラシはモーターを傷めますので使用しないでください。

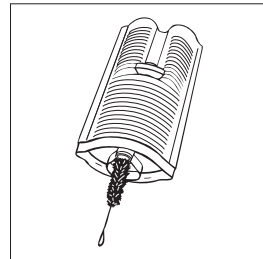


6 伸縮パイプ内部をパイプ下側からブラシや綿棒などによりそうじします。

このとき、流量調整レバーがはずれないようにご注意ください。

※伸縮パイプ下部、流量調整レバーにはOリングが付いています。さらに流量調整レバー下部には調整スクリューが付いています。

そうじにより破損、紛失した場合は、テトラインフォメーションセンターへお問い合わせください。



7 取りはずした逆の順序で本体を組み立てます。設置方法を参考に水槽にセットします。

※フィルターケースとモーター部の取付時、モーター部の「Tetra」ロゴマーク位置が必ずフィルターの前面になるようにセットしてください。

## 仕様

寸法	幅88×高さ195×奥行70mm	定格周波数	50/60Hz（共用）
	※フィルターカバー取付時 高さ205mm	定格消費電力	4.5/3.5W
定格電圧	100V	流量	190/200 ℓ/時

10

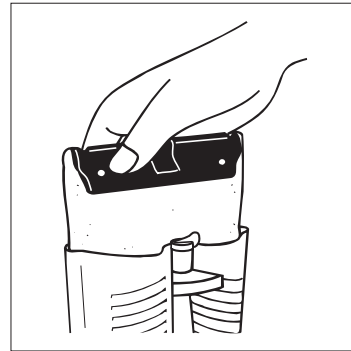
## バイオバグジュニアの交換方法

流量が低下したり水のごりが激しくなりましたら、早めにバイオバグジュニアを交換してください。

通常バイオバグジュニアは最低2～3週間に1回の交換を目安にしてください。

※海水魚や、魚を多く飼育している場合は、2週間に1回の目安で交換することをお勧めします。

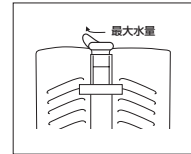
お求めの際は、**バイオバグジュニア**をお求めください。



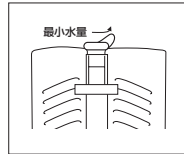
## 餌を与える時の流量調節

テトラミンやテトラフィンなどのフレークの餌を与える時は、フィルターに吸い込まれないように流量調整レバーを最少にします。（本体正面の右側に流量調整レバーを向けることで最小水量となります）餌が食べ尽された後、お好みの水量に調節しご使用ください。

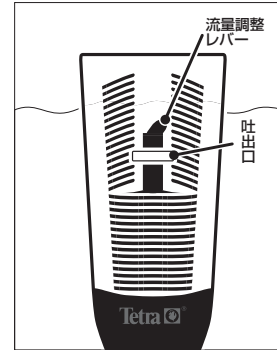
最大水量レバー位置



最小水量レバー位置



8



## セットできる水槽の種類

30～60cmの水槽に最適な外掛式のかたんフィルター!!

（メインフィルターとして）

種類	幅×奥行×高さ(約)	水量(約)
RG-20	22×22×26cm	9 ℓ
PL-32	32×16.4×22cm	10 ℓ
GB-30	30×20×23cm	12 ℓ
RG-30	32×22×30cm	16 ℓ

（サブフィルターとして）

種類	幅×奥行×高さ(約)	水量(約)
AG41	41×21×26cm	20 ℓ
RG-40	41×25×38cm	34 ℓ
AG51	51×26×30cm	36 ℓ
GA60	60×30×36cm	60 ℓ

●縦置き使用の場合、水槽の内寸高さが20cm未満の水槽には装着できません。フック使用時、水槽フレームの幅が15mmを超える場合は装着できません。また横置き使用の場合、水槽幅が21cm未満の水槽にはセットできません。

●このフィルターは、屋内用です。

## 故障・異常の見分け方と処置方法

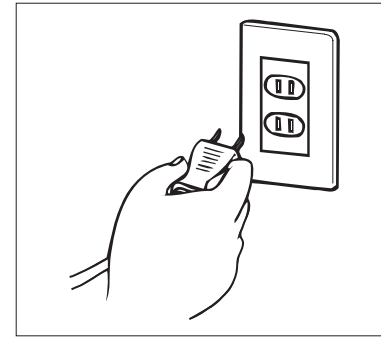
注意 ⚠ 細かい砂などの異物を吸い込むと止まります。下記を参考に処置してください。

現象	原因・チェック	処置方法
水が流れない (モーターが動かない)	電源は入っていますか?	コンセントにしっかりプラグを差し込んでください。
モーターが止まる	インペラー部やモーター内部にゴミや水アカが付着している。または細かい砂やろ材など異物を巻き込んでいる。	インペラー部やモーター内部のゴミや水アカをそうじしてください。または細かい砂など異物を吸い込まないように注意してください。
	インペラー／マグネットや軸に糸や毛などが巻きついている。	糸や毛などを取り除いてください。
	インペラー／マグネットが軸を中心にスムーズに回転しない。	インペラー／マグネットの間にカルシウム等のミネラル分が付着しているのを取り除く。（食用酢の中に数時間浸してから強い水流中でよく洗う。）
水槽の水位が低くありませんか?		<a href="#">設置方法</a> の「ア」を参照してください。
本体吸水部にゴミが付着していませんか?		本体吸水部からゴミを取り除いてください。
異常音が発生する	インペラー部が破損していないかチェックします。	破損している場合、交換します。

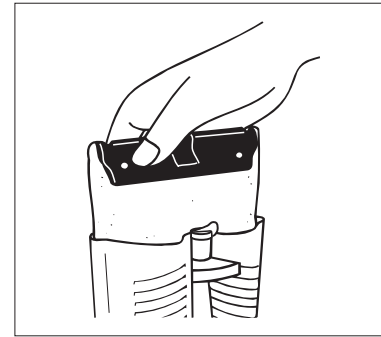
●上記該当しない場合は、お買い上げ店もしくは弊社テトラ インフォメーションセンターまでお問い合わせください。

11

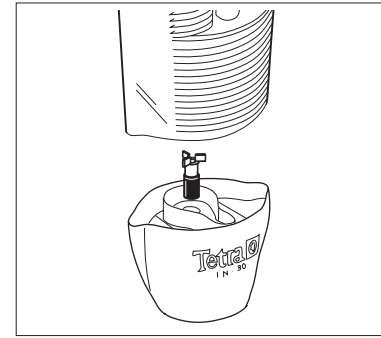
## フィルターケース・インペラー部のそうじ



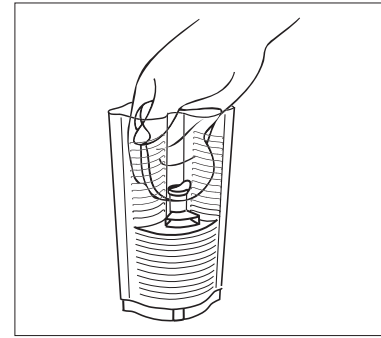
1 電源コードをプラグより抜きます。



2 バイオバグジュニアをフィルターケース部より取り出した後、本体を水槽より取り出します。



3 モーター部とフィルターケース部をはずします。  
注）モーター部は「Tetra」ロゴの記載のあるのが正面となります。

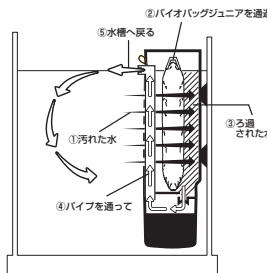


4 布でフィルターケース内側の汚れを拭き取り、内部を流水ですすぎます。

9

## IN-30のクリーン還流

本体で吸水された飼育酸がバイオバグを通り吐水口から排出され、水槽内にゆるやかな環流をつくれます。



## 交換る材

バイオバグジュニアのトリプルろ過

1 汚れをカットする 物理ろ過  
特殊フロスが魚のフンや残りエサを除去します。

2 汚れを分解する 生物ろ過  
三次元構造のエアロビックフレームが汚れを分解する「ろ過バクテリア」の繁殖をうながし、有害なアンモニア、亜硝酸を分解します。

3 汚れを吸いとる 吸着ろ過  
1g当たり900㎡の表面積を保有する高品質吸着ろ材がにごり、悪臭を吸着します。



バイオバグジュニアは使い捨てです。通常バイオバグジュニアは最低2～3週間に1回の交換を目安にしてください。  
※海水魚や、魚を多く飼育している場合は、2週間に1回の目安で交換することをお勧めします。

交換フィルター  
テトラ バイオバグジュニア  
●AT-20/AT-30/OT-30/OT-30Plus  
IN-30用交換ろ材

※ろ材の交換は専用ろ材をお買い求めください。



テトラ  
ワンタッチフィルターブラシ

●ワンタッチフィルター洗浄用ブラシ（全機種対応）  
●テトラワンタッチフィルター用洗浄ブラシです。  
●ぬめり、汚れを落とし、モーター停止、流量回復に効果をだします。



12

01J27